

地域包括支援センターからのお知らせ

定期的に広報誌でお知らせしている「認知症」について、今月号は「判断能力が低下してくることによる金銭管理や書類の管理」について、SOSを周囲がどのような視点でキャッチしていけると良いのかお知らせします。

認知機能が低下すると、少しずつ分からないことやできないが増えていくので、病気の進行とともに、介護の仕方や対応の方法が変わってきます。介護している人は、認知症の人の言動に振り回されないで、少し距離をもちながら冷静に様子を見てみましょう。気になる行動には理由があるものです。

判断する力が低下してくるとお金の種類や価値が分からなくなることがあります。例えば1万円が多いのか少ないのかを考える力がなくなり、「100円ちょうだい」と言われても、財布の中のどれを出せばよいのか分かりません。とりあえず紙のお金（お札）を渡せばなんとかなると思い、買い物に出かけたときも少額でもお札で支払うようになります。まだある物を繰り返し買って来て、同じ物が増えたり、家の中が小銭だらけになっていないか気をつけていきましょう。また、しまい忘れや置き忘れが増え、財布・通帳などを度々なくしたり、盗まれたと疑うこともあります。

理解力や関心も低下してくるので、手紙や大事な書類等が送られてきても、自分で確認しなくなる等無関心になることもあります。

振り返ればSOSのサインが出ていることがあります。本人も残っている記憶・習慣の中で何とか対応しようとしています。

周囲が困っていることに気付き安心して暮らせるようにサポートしていきたいものです。

身近にいませんか？

- ・うまく買い物ができない
- ・要らないものを沢山買う
- ・訪問販売が頻繁に出入りしている
- ・心配なことがあるのに病院や介護サービスを受けていない
- ・ある人から物やお金をせがまれている
- ・お店や知人に借金をするようになった
- ・家がゴミ屋敷になっている

認知症や介護のことのほか、些細な変化など身の回りで気になることがありましたら、**地域包括支援センター（電話・告知端末機：5-1790）**までご相談ください。

とくのう むつみ
得能 睦美 保健師です
よろしくお祈いします



9月から保健センターで保健師として勤めています。8月まで猿払村の保健師をしていました。早く皆さんの顔と名前を覚えたいと思いますので、気軽に声を掛けていただくと嬉しいです。

どうぞよろしくお祈いいたします。

幌延町成年後見支援センターが開設されました

認知症や障がいなどで、理解・判断能力が低下し金銭管理等が大変になってきた方への相談機関として、町が社会福祉協議会へ委託し、社会福祉協議会内に10月1日から「幌延町成年後見支援センター」が開設されました。色々な制度を活用できるように社会福祉士が相談をお受けします。

個人情報を守るため相談などは別室でお受けします（電話：5-2090）。ご家族やご近所などで心配なことがあれば、まずご相談ください。



○講演会のお知らせ○

成年後見支援センターの役割を町民の皆さんに知っていただくため、講演会を開催します。適切な活用のためにも、ぜひご参加ください。

日 時：平成29年11月10日（金） 18：30～20：00
会 場：幌延町生涯学習センター研修室
内 容：「私たちができる身近な人への思いやり・まちづくり」
～地域の中で困っている人を見つけた時に～
講 師：東京大学大学院教育学研究科 特任専門員 東 啓二 氏